

令和6年度 道徳教育 全体計画

学校番号	42	野沢南	高等学校	全日制 課程	普通 科
------	----	-----	------	--------	------

学校教育目標
1 民主社会における正しい判断力と道義心を養う。 2 教養を高め心身を鍛えて個性を伸ばす。 3 適切な職業観を培う。
重点目標
(1) 生徒の学習環境の改善に努めるとともに、日々の清掃活動等を通して 生徒自らも環境整備に取り組む意識を育てる。 (2) H Pの定期的な更新や「野沢南だより」等の発行を通じて、地域への広報活動を充実させる。 (3) 生徒の学習意欲を刺激し、主体的に取り組めるようにICTを効果的に活用する授業研究・改善を進め、学力向上をはかる。 (4) 人権意識を高め、いじめ・体罰のない安全で安心な学校づくりを進める。

道徳教育の重点目標
人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を家庭、学校やその他の社会における具体的な生活の中で生かし、豊かな心を持ち、個性豊かな文化の創造と民主的な社会及び国家の発展に努め、進んで平和的な国際社会に貢献し未来を拓く主体性のある日本人を育成するため、その基盤としての道徳性を養う。(学習指導要領総則第1章第1款の2)
【重点目標】 ① 心身の健康を心掛け、どんなことに対しても粘り強く着実にやり抜くことができる生徒を育てる。 ② 感謝と思いやりの心を持ち、謙虚な姿勢で学ぶことができる生徒を育てる。 ③ 集団の一員として自己の役割と責任を自覚し行動できる生徒を育てる。

学年	目標	キャリア教育	ホームルーム活動	生徒会活動・部活動等	各教科	
					国語	地理歴史
1年	・基本的な生活習慣を身につけ、高校生としての自覚を持ち、責任ある行動がとれるようになる。 ・互いの人格を尊敬し、思いやりの気持ちをもって行動できる力を身につける。	・未来に対して、夢と希望を持たせる。 ・生徒一人ひとりに自分の個性について正しく理解させ、適切な進路設計を行い、意欲的に挑戦できる力を育てる。	・人間関係づくりを進め、一人ひとりがクラス内での役割と存在意義を自覚できるようにする。 ・他人に頼らず、自ら判断し、進んで行動できる力をつけるようにする。	・集団活動の企画、実践など様々な活動経験を通して、道徳教育の基礎となる自主・自立の精神を養う。	国語 思考力・想像力・洞察力などの力を身につけ、豊かな自己表現力を養う。また、互いの立場を尊重し言語を通して表現できる力を養う。	地理歴史 歴史や文化についての認識を深め、国際社会に主体的に生きることができ、平和的、民主的な社会の一員として必要な資質を養う。
					公民 社会について主体的に考察させ、人間としての在り方・生き方についての自覚を育て、社会の有為な形成者として必要な資質を養う。	数学 基本的な原理や概念、法則などの理解を深め、事象を数学的に考察し、筋道を立てて考え、表現する能力を高める。
2年	・集団において、互いの存在を認め合い、協力することができる力を養う。 ・自立心を確立し、自ら進んで課題を解決でき、責任ある行動がとれるようになる。	・夢や希望をもって将来の生き方や生活を考え、前向きに自己の将来を設計できる能力を育てる。 ・インターンシップやボランティア活動などの経験を通して、社会生活に必要な資質やマナーを身につけられるようにする。	・集団の中で必要な資質や態度についての学習を進め、公正・公平・責任などの態度を養い、道徳教育に必要な精神基盤を確立する。	・集団生活での体験を通して協働性や協調性を養うとともに、感動などの貴重な体験をすることにより、豊かな心情を育成する。	理科 目的意識をもって観察や実験を行うことや、科学的探究力や態度を育て、豊かな心や科学的な自然観を育てる。	保健体育 技能の習得とともに、公正、協力、責任、参画などに対する態度を育てる。また、健康を保持増進し、調ある生活を送る基盤を作る。
					芸術 芸術を愛好する心情を育て、感性を高め、美しいものや崇高なものに尊重する力を養う。また創作活動を通じて、美しさに感動する力を養う。	外国語 広い視野を持ち、国際感覚を向上させ国際協力の精神を育成する。また、外国の言語や文化に対する理解を深め、その違いを受容する力を養う。
3年	・自己実現ができ、よりよい人生観や価値観を形成し、国家社会の一員としての自覚を持てるようになる。 ・社会の一員としての役割や義務を理解し、責任ある行動がとれ、公德心を養う。	・生徒一人ひとりの職業観・勤労観を育成するために、学ぶことや働くことの意義や役割、また多様性を理解し、幅広く情報を活用し進路や生き方の選択に生かせる情報活用能力を養う。	・社会の構成者としての自覚を持ち、様々な集団での活動を通して、思いやりの心、奉仕の精神、公共の福祉、協力、勤労等の道徳性の育成を図る。	・規律の遵守や協力の精神を確立するとともに、学校への所属間を深め、よりよい校風の確立と学校伝統の継承、発展などを図る力をつける。 ・協力、責任、心身の健康、公德心、勤労観などの道徳性を身につける。	家庭 発達と成長の営みを総合的にとらえ、互いを尊重し協力して家庭や地域の生活を主体的に創造する能力を養う。	情報 情報に関する科学的な見方や考え方を養い、情報技術を活用するための知識を習得し、情報社会における情報の意義やモラルを理解させる。
					総合的な探究の時間 自ら課題を見つけ、自ら学び、考え、体験し、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を養う。	

家庭・地域との連携	・「進路だより」「PTA通信」「ホームページ」などで情報を共有し連携を図る。 ・公開授業やPTA総会など各種の行事を通して地域・保護者・学校関係者の連携を図る。 ・体験活動や地域行事への参加、地域人材の活用などにより交流を深め、協力体制の確立を図る。
-----------	---